

安全データシート

Safety Data Sheet

1. 製品名及び会社情報

製品名	： 白馬 クリッシュ
会社名	： 株式会社 万立
住所	： 大阪府柏原市片山町 13-59
担当部門	： 技術
電話番号	： 072-977-0898
FAX番号	： 072-977-0899
推奨用途及び使用上の制限	： 業務用フロアポリッシュポリマータイプの洗浄、改質、補修、つや出し管理剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	： 区分外
健康有害性	
急性毒性（経口）	： 分類できない
急性毒性（経皮）	： 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	： 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	： 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	： 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	： 分類できない
呼吸器感受性	： 分類できない
皮膚感受性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発ガン性	： 分類できない
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない
吸引性呼吸器有害性	： 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性・急性	： 分類できない
水生環境有害性・慢性	： 分類できない

上記で記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示	： なし
注意喚起語	： なし
危険有害性情報	： 眼、呼吸器又は皮膚を刺激するかもしれない。
注意書き	

【予防策】

- 使用前に取扱い説明書を入手し、全ての安全注意情報を読み理解するまで取扱わないこと。
- 使用の際は製造者／供給者または規制当局が指定する保護手袋、衣類、長靴および保護眼鏡等を着用すること。
- 粉塵/フューム/ガス/ミスト/スプレーの吸入を避けること。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

【対応】

- 飲み込んだ場合 : 意識がある場合は水で口の中を濯がせ、コップ 1~2 杯の水または牛乳を飲ませ、無理に吐かせずに速やかに医師の診断を受けること。
意識がない場合は口から何も与えずに速やかに診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに清水で 15 分以上流水洗浄すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師に連絡すること。
- 皮膚（又は髪）に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと／取除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。多量の水と石けんで洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。
- 粉塵やミストを吸入した場合 : 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。気分が悪い時は、直ちに医師の診断／手当を受けること。
- 曝露又は曝露の懸念が有る場合 : 医師の診断／手当を受けること。

【保管】

屋内の涼しく換気のよい場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物および容器を廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた専門の産業廃棄物処理業者と契約し、産業物処理法（産業物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を厳守し、適正に処理すること。

【使用上の注意】

安全データシート（SDS）を参照して下さい。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 成分及び含有量 : アクリル系樹脂エマルジョン、ポリエチレンワックスエマルジョン、可塑剤、被膜形成助剤、アクリル系アルカリ可溶性樹脂、水、その他微量成分（界面活性剤、消泡剤、抗菌剤）
- 適用法令関連成分 : 該当成分無し

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 被災者は空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を拭き取り、多量の水及び石鹼で洗い流す。症状がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清水で 15 分以上注意深く流水洗浄後医師の診断を受ける。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- 応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
- 医師に対する特別注意事項 : 特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。

5. 火災時の処置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水、等。
- 使ってはならない消火剤 : 情報無し。
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。燃焼ガスを吸引すると頭痛や呼吸障害を引き起こす可能性があり、吸引した場合は直ちに医師の診断を受ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないように適切な処置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避ける。

6. 漏出時の処置

- 人体に対する注意事項、保護具 : 作業の際には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取る。大量の水で洗い流す。多量の場合、人を安全な場所へ退避させ、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二次災害防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花が発生しない安全な用具を使用する。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 眼及び皮膚への接触を避ける。変質の原因となるため小分けした本剤を元の容器に戻さない。
- 安全取扱注意事項 : 作業時の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、皮膚や粘膜に触れたり、眼に入らないよう注意する。
取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。

保管

- 適切な保管条件 : 製品の直射日光や凍結を避け、換気の良い屋内で容器を密栓して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 製品容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護処置

設備対策

- : 蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度

- : 設定されていない。

管理濃度

- : 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会

- : 設定されていない。（2001年版）

ACGIH

- : 設定されていない。（2001年版）

保護具

呼吸器の保護具

- : 通常取扱いでは特に必要ない。状況に応じて着用する。

手の保護具

- : 不浸透性（耐薬品、耐油）の保護手袋を着用する。

目の保護具

- : 側板付き保護眼鏡（必要に応じてゴーグル型又は全面）を着用する。

皮膚及び身体への保護具

- : 長袖作業衣、ゴム長靴等を着用する。

適切な衛生対策

- : 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

性状

- : 水性エマルジョン

色

- : 乳白色

臭気

- : 微特異臭

PH（原液）

- : 8.0～9.0

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点

- : 約100℃

融点

- : データ無し。

引火点（測定方法）

- : なし

蒸発速度

- : データ無し。

燃焼性（固体、ガス）

- : データ無し。

燃焼又は爆発特性

- : データ無し。

蒸気圧

- : ほぼ水と同様。

蒸気密度

- : データ無し

比重

- : 1.02（20℃）

溶解温度：水溶解性	:	水と任意に溶解する。
溶媒溶解性	:	有機溶剤との接触により、エマルジョン破壊が生じ、成分が分離しやすい。
n-オクタンール/水分配係数	:	データ無し。
発火点	:	なし
自然発火温度	:	データ無し。
分解温度	:	データ無し。
その他のデータ	粘度	: 10mPa・s以下(20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	:	通常の手扱い条件では安定。(凍結により、エマルジョンが破壊されるので凍結しないよう保管運搬に注意する)
反応性	:	自己反応性、水との反応性、自己重合性無し。
避けるべき条件	:	酸類、塩類、溶剤類との接触(分離を促進)。高温、凍結を避ける(変質原因)。
避けるべき材料	:	情報無し。
混触危険物質	:	水禁止物質との混合。
危険有害な分解生成物	:	情報無し。
その他	:	情報無し。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
急性毒性(経皮)	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
急性毒性(吸入:ガス)	:	:	情報無し。
急性毒性(吸入:蒸気)	:	:	情報無し。
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	:	:	情報無し。
皮膚腐食性/刺激性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
生殖細胞変異原性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
発ガン性	IARC	:	認定されていない。
	NTP	:	認定されていない。
	日本産業衛生学会	:	認定されていない。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
生殖毒性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
吸引性呼吸器有害性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。

12. 環境影響情報

水生環境有害性	(製品のデータ)	:	情報無し。
	(成分のデータ)	:	情報無し。
残留性/分解性	:	:	情報無し。

- 生体蓄積性 : 情報無し。
 土壤中の移動性 : 情報無し。
 その他 (製品のデータ) : データ無し。
- 13. 廃棄上の注意** : 内容物／容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。
 焼却する場合、関連法規・法令を厳守する。
 廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分する。
- 14. 輸送上の注意**
- 国内規則
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている輸送方法に従う。
- 国際規則 : 航空輸送は I A T A 及び海上輸送は I M D G の規則に従う。
- 国連分類番号・国連番号 : 該当しない。
 I A T A : U N Number : 該当しない。
 I M D G : U N Number : 該当しない。
- 輸送上特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- 緊急時応急処置指針番号 : 無し。
- 15. 適用法令**
- 国内的用法令
- 化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない。
 化審法（特定化学物質、監視化学物質） : 該当しない。
 労働安全衛生法 : 該当しない。
 毒劇物取締法 : 該当しない。
 消防法 : 該当しない。
 高圧ガス保安法 : 該当しない。
 火薬類取締法 : 該当しない。
 船舶安全法 : 該当しない。
 航空法 : 該当しない。
 その他の法令：海洋汚染防止法 : 該当しない。
- 物質登録情報 : ENCS (Japan) : 登録済み（少量新規を含む）
 TSCA (USA) : 一部未収載
 EINECS (EU) : 一部未収載
 AIGS (Australia) : 一部未収載
 DSL (Canada) : 一部未収載
 ECL (Korea) : 一部未収載
 PICCS (Philippine) : 一部未収載
 IECSC (China) : 一部未収載
- 16. その他の情報**
- 問い合わせ先
- 会社名 : 株式会社 万立
 住所 : 大阪府柏原市片山町 13-59
 担当 : 技術
 電話番号 : 072-977-0898
 F A X 番号 : 072-977-0899
 緊急連絡先 :
 引用文献 :

お願い

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。
記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。
取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、
使用されるようお願いいたします。